

インドの有望な大学ヒアリング

ジェットロは、高度外国人材の採用や育成定着に関心のある企業に対して専任コーディネーターによる伴走型支援を行っているほか、企業および外国人材が必要とする情報を網羅するポータルサイトの運営、合同企業説明会の開催などを通じ、「高度外国人材活躍推進」に取り組み、日本のイノベーション創出や国際競争力強化に取り組んでいます。

この度、ベンガルール市内の大学へヒアリングを実施しました。インドの大学から新卒採用に関心のある日本企業に対して、日本とは異なる採用プロセスとともにご紹介します。

はじめに - 日本と異なるインドの新卒採用プロセスについて

インドにおける新卒採用プロセスは、日本の新卒採用と異なる点が多く、また大学によって採用上のルールが定められている。Tier1 や Tier2 などの上位校においては就職支援の担当部署（Placement Centre 等）が企業と連携し、学内向けの企業説明会やジョブフェアなどの就職機会やインターンシップを学生に提供することが主流となっている。インドの大学から新卒採用を希望する企業は、企業説明会等に参加できるよう大学とのネットワーク構築が重要になる。

プロセスやルールは大学によって異なるが、就職支援担当部署の裁量権が大きく、企業による就職説明会や面接会の時期や、参加企業やその順番等は給与や企業の知名度等に応じて同部署が決定することもある。就職説明会において、企業は説明会、選考試験、面接、内定といった一連の採用活動を早ければ1日で実施するよう求められる。また、大学は学生の説明会参加数や内定数の制限を設けることや、成績順に大手企業との面接機会を与えるなど、企業にとっても学生にとっても、日本の新卒採用プロセスと異なる点には留意が必要である。

日本企業に対する大学の期待について

2025 年 2 月にベンガルール市内の大学5校に対して、日本企業に対する期待をヒアリングしたところ、企業説明会等への参加に限らず、インターンシップによる学生の受け入れを期待する声寄せられた。

ヒアリングした 5 校のうち、日本語の授業等を提供するのは Christ University および Ramaiah Institute of Management 内の Ramaiah Japan Centre の 2 校であった。現在は日本語を学んでいない学生でも、日本語を学ぶことでキャリアの選択肢が広がることを理解し、企業文化に触れる機会としてインターンシップが有望視されている。インドにはヒンディー語以外にも多数の言語があり、複数の言語を話す方も多いことから新しい言語を学ぶことに抵抗が少ないと考えられる。そこで、インターンシップを通じて日本の企業文化等に触れて日本企業への就職関心が高まり、さらには日本語学習の先に「就職」というゴールが見えることで、日本語学習の意欲向上が期待できる。

その他には、IT 分野専攻の学生はベンガルール市内で就職先候補が多くあることから、機械工

学や建築など、IT 分野以外での連携を期待する大学もあった。

第三回日印大学フォーラムについて

日本とインドの協力を一層促進するための交流基盤の形成を目的とし、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が2023年から「日印大学等フォーラム」を開催している。本フォーラムでは「日印間の頭脳循環の促進とその人材の活用」をテーマとし、2024年10月19日(土)に第三回をインド・ニューデリーで開催した。日印トップ大学の学長61名(日本側28名、インド側33名)のほか、1研究機関、5関係機関、5企業が出席した。インド工科大学の他、多くの地方大学が参加し、日本に対する関心度が非常に高まっているように見受けられた。インド側参加大学の中で、日本語や日本関連分野の教育を積極的に実施している大学は以下の通り。

・デリー大学

<https://eas.du.ac.in/>

・ジャワハルラール・ネルー大学

<https://www.jnu.ac.in/sllcs/cjs>

・ニッテ大学

<https://nitte.edu.in/>

・SRM 科学技術大学

<https://srmap.edu.in/japanese-studies/>

・アミティ大学ノイダ校

<https://amity.edu/noida/foreign-language.aspx>

・インド工科大学マンディ校

<https://www.iitmandi.ac.in/>

・アンナ大学

<https://www.annauniv.edu/>

・ヴェローラ工科大学

<https://chennai.vit.ac.in/academics/schools/ssl/>

第 三 回 日 印 大 学 フ ォ ー ラ ム の 詳 細 :

<https://ssp.jst.go.jp/exchange/india/event/20241019.html>

おわりに

理系人材や高い言語能力を有する人材が多いことや、インド市場に対する期待の高まりとともに注目を浴びているインド人材。インドにおける新卒採用プロセスを理解し、求める人材とどこで出会えるのかを絞り込み、採用戦略を立てることが重要です。

ジェトロは海外大学等との連携や、高度外国人材の採用や育成定着等に関心のある日本企業の伴走型支援、情報発信等、高度外国人材の活躍推進に引き続き取り組みます。

関連情報

1. 高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援
<https://www.jetro.go.jp/services/bansogata.html>
2. JETRO Overseas University Connect を通じて、海外の有力な大学を日本企業に紹介しています。
第 1 回 JOUC・インドベロール工科大学(VIT)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/05/f1a8d9b96cf00835.html>
第 2 回 JOUC・インドティラク・マハーラーシュトラ大学(TMV)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/06/2c2bd149f04b8f7a.html>
第 3 回 JOUC・インド工科大学ハイデラバード校(IITH)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/07/7acf2c6746898496.html>
第 4 回 JOUC・マレーシア日本国際工科院(MJIIT)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/07/7ecd6fd104e26bef.html>
第 5 回 JOUC・ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学(HCMUT)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/08/f463801d2c29c891.html>
第 6 回 JOUC・泰日工業大学(TNI)
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0304/622a17f21767fb69.html>
第 7 回 JOUC・インド工科大学ジョードブル校、マンディ校
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/7e53119d4aaf8a4e.html>
第 8 回 JOUC・ベトナム国家大学ハノイ校日越大学(2/20 開催)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/03/4267ba56d4598222.html>
3. インド工科大ハイデラバード校でジェトロが「Japan Career Day2024」共催
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/09/2c37632be14d8d8e.html>
4. 高度外国人材活躍推進ポータルサイトには、省庁の取り組みも含めて、高度外国人材にかかる情報を網羅的に掲載しています。
<https://www.jetro.go.jp/hrportal/>
5. 「海外高度外国人材情報」では、高度外国人材に関する海外情報を紹介しています。
<https://www.jetro.go.jp/hrportal/report.html>
6. 特集「高度外国人材と創出する日本企業のイノベーティブな未来」では、実際に高度外国人材を雇用している企業へのインタビューを基に、活躍事例を紹介しています。
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0304/>

- ・ 本資料は、インドにおける高度外国人材に関心を持つ日本企業のため、基本的な情報提供を行うことを目的に作成したものです。2025 年 2 月時点の情報をもとに作成していますが、制作後に変更が発生し本資料の内容と異なっていることもあり得ます。
- ・ 本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。
- ・ ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- ・ 本資料を無断で引用・転載することは禁じます。